

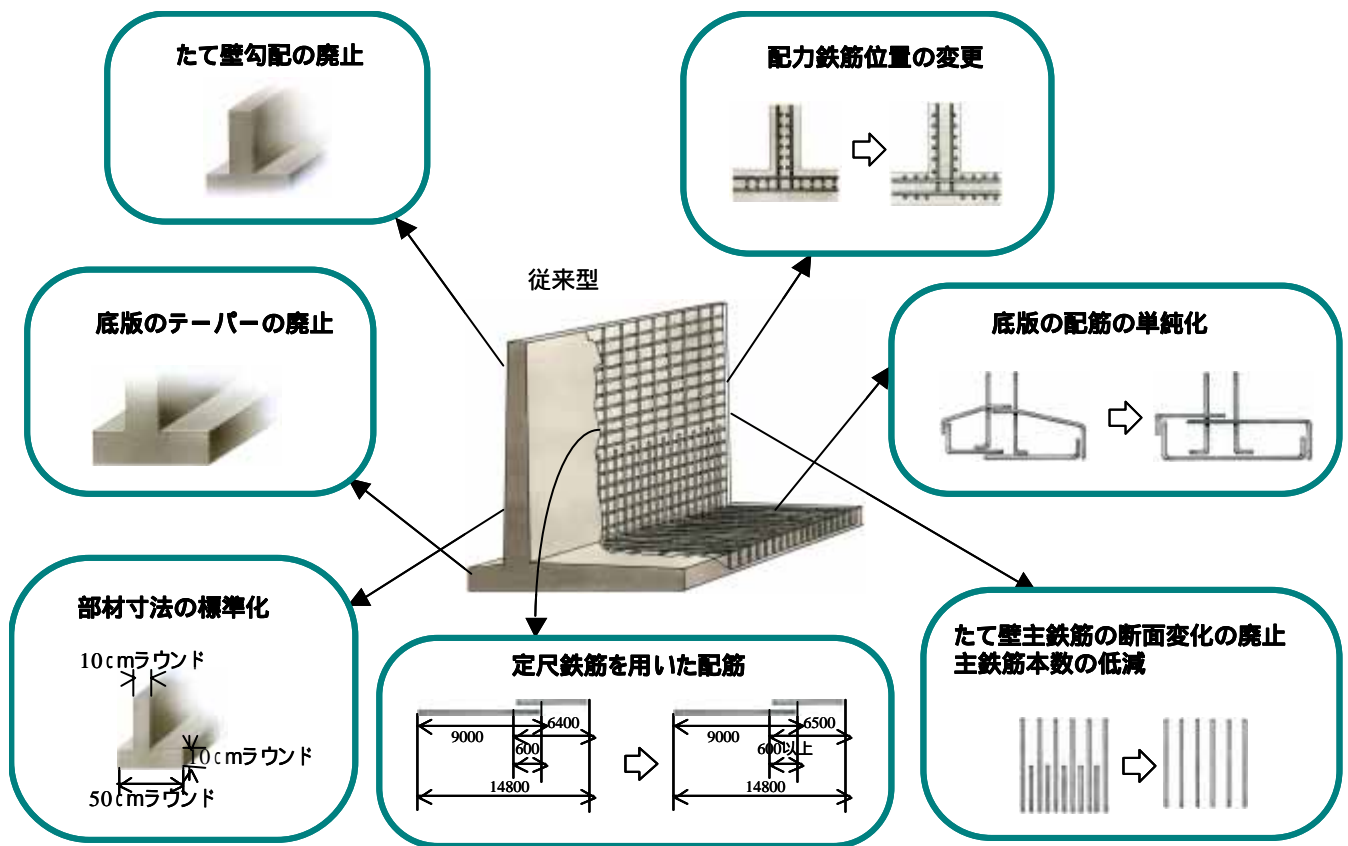
コスト縮減に向けた標準設計の見直し

視点 「材料ミニマム」から「労働量ミニマム」へ

構造物形状の単純化
使用材料及び主要部材の標準化・規格化
構造物のプレキャスト化

労務費が材料費に比べて相対的に高くなった経済環境を背景に、従前のコンクリートや鉄筋等の使用材料の最小化を重視する設計の考え方から、施工能率の向上を重視する設計の考え方への転換により、総合価格を最小にする考え方です。

具体的施策（擁壁を例として）



効果の検証

上記視点に基づいたモデル工事45件を実施した結果、標準設計で対象としている一般的な構造条件下ではコスト縮減の効果が実証されました。

成果

これまでに標準設計作成の核となる以下のものを作成しました。これに基づいたコスト縮減型標準設計は、平成12年度に標準設計第1巻(側溝・カルバート)及び第2巻(擁壁)を発刊しています。

[土木構造物設計ガイドライン](#)

[土木構造物設計マニュアル\(案\) - 土工構造物・橋梁編 -](#)

[土木構造物設計マニュアル\(案\)に係わる設計・施工の手引き\(案\) - ボックスカルバート・擁壁編 -](#)

[土木構造物設計マニュアル\(案\) - 橋門編 -](#)

[土木構造物設計マニュアル\(案\)に係わる設計・施工の手引き\(案\) - 橋門編 -](#)

[詳細はここをクリック](#)